

令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 区市町村が実施するがん検診の 受診状況等に関する調査結果



令和3年8月4日

東京都福祉保健局保健政策部健康推進課

I 区市町村が実施するがん検診の受診状況調査

I-1 調査概要

○調査目的

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、健康増進法に基づいて区市町村が実施する **がん検診の受診者数等の変化を把握する**

○調査項目

区市町村が健康増進法に基づいて実施するがん検診の受診者数

区分①：胃がん（胃部X線・胃内視鏡）・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診

区分②：集団検診・個別検診

○調査対象期間

令和元年度：平成31（2019）年4月から令和2（2020）年3月まで

令和2年度：令和2（2020）年4月から令和3（2021）年3月まで

○調査対象

都内区市町村（62自治体）

○調査実施

1回目（上半期分）：令和3（2021）年1月6日から1月22日まで

2回目（下半期分）：令和3（2021）年6月1日から6月15日まで

○回収率

100%（62自治体）

（参考）厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

○留意事項

①厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に定める検査方法、対象年齢に限定した受診者数を集計する。

②厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」、東京都「精度管理評価事業」の調査では除外する受診者数※を含めて集計する。

※隔年実施の検診（胃がん、乳がん、子宮頸がん）における2年連続受診者数など

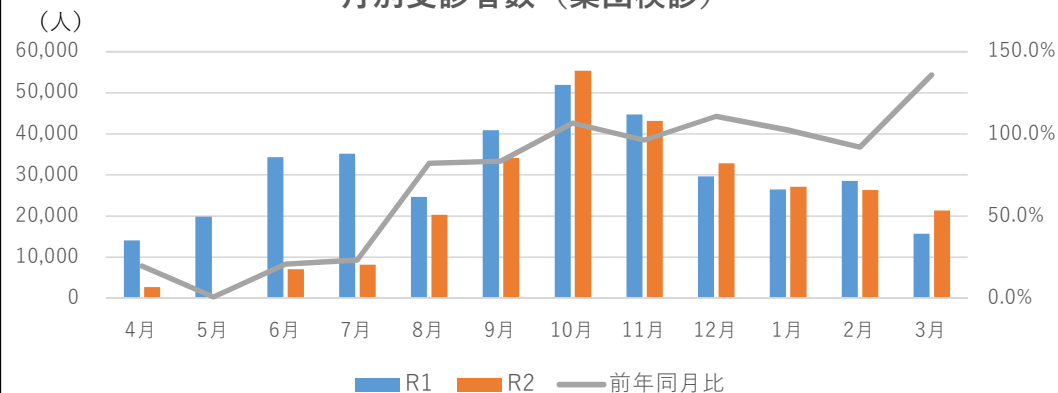
③上記に加え、本調査時点で実施機関等から報告があった受診者数を集計するため、②の調査結果（確定値）とは一致しない。

種類	検診方法		対象年齢	検診間隔
胃がん検診	問診	胃部X線検査又は胃内視鏡検査	50歳以上※	2年に1回※
肺がん検診	質問/問診	胸部X線検査及び喀痰細胞診 (50歳以上の喫煙指数600以上)	40歳以上	年1回
大腸がん検診	問診	便潜血検査（二日法）	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診	乳房X線検査（マンモグラフィ）	40歳以上・女性	2年に1回
子宮頸がん検診	問診	視診、子宮頸部の細胞診、内診	20歳以上・女性	2年に1回

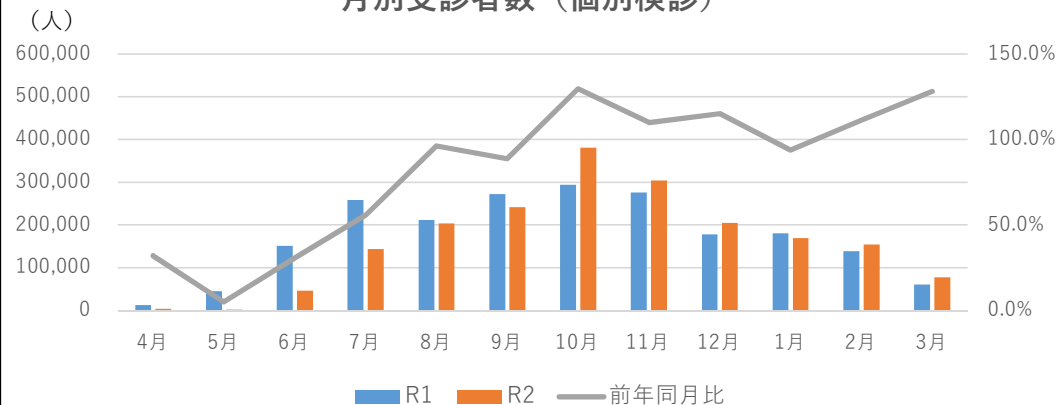
※当面の間、胃部X線検査は40歳以上、年1回実施可。

I-2-1 区市町村のがん検診受診者数（令和元年度及び2年度受診者数の比較）【検診方法別】

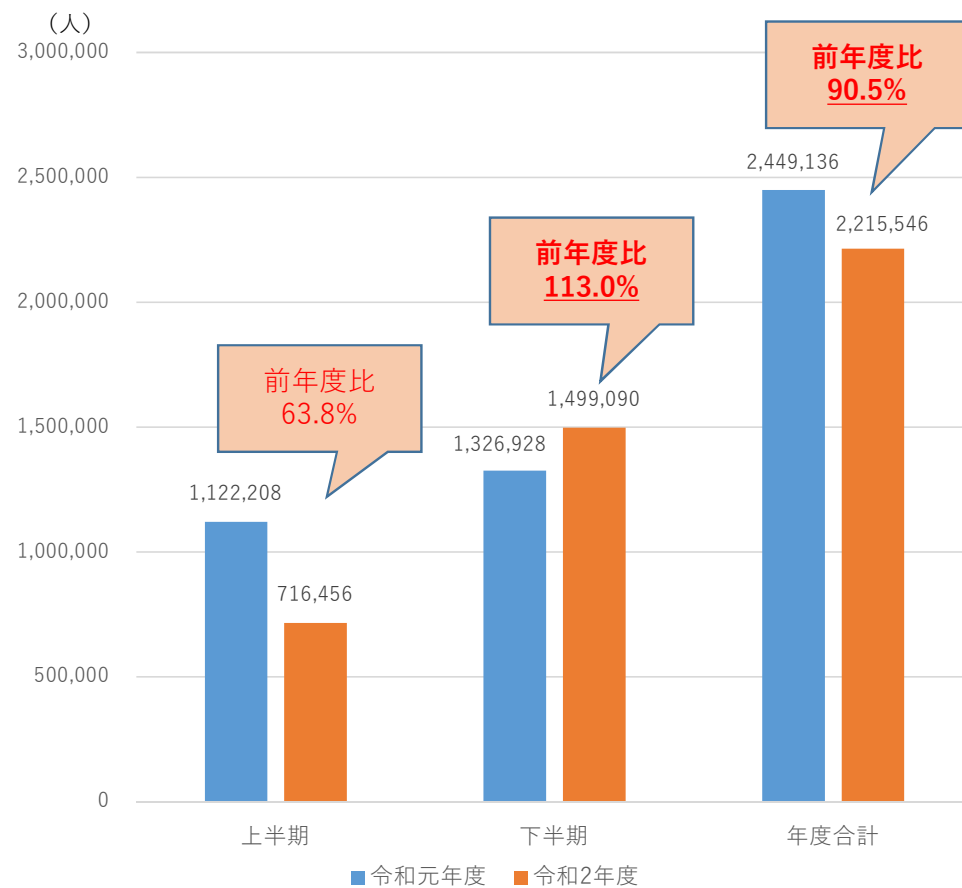
月別受診者数（集団検診）



月別受診者数（個別検診）



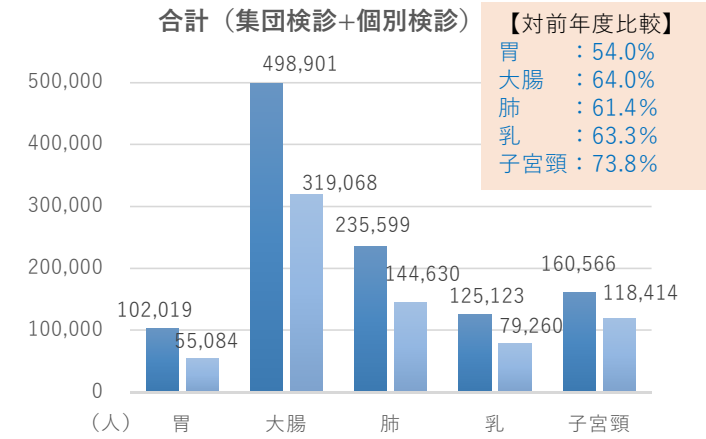
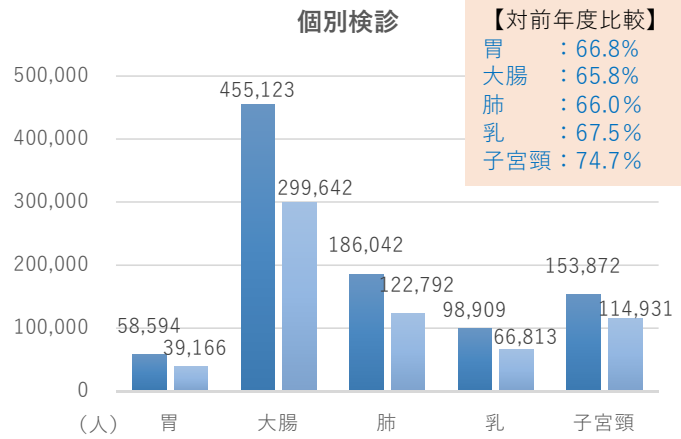
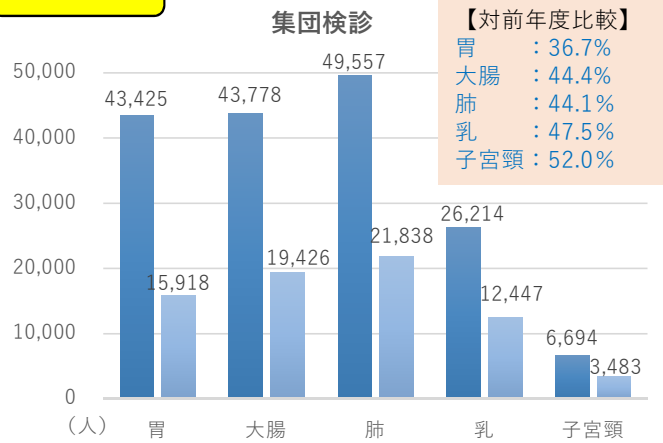
区市町村のがん検診受診者数（集団検診+個別検診）



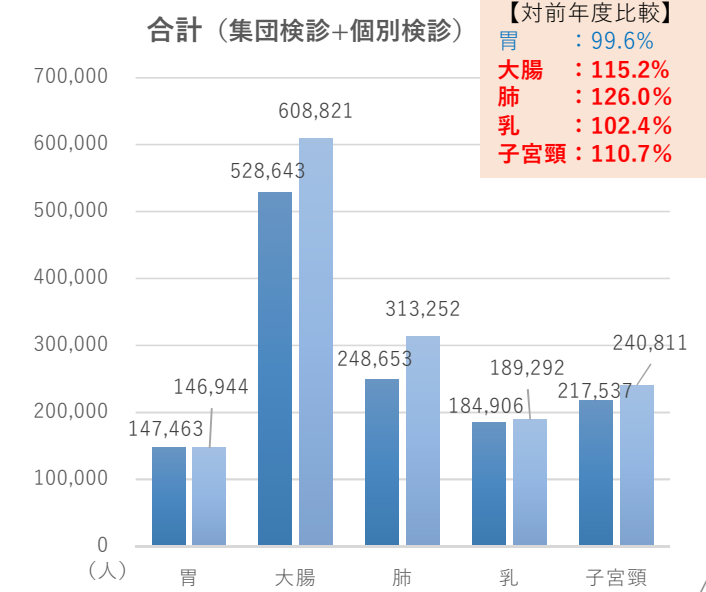
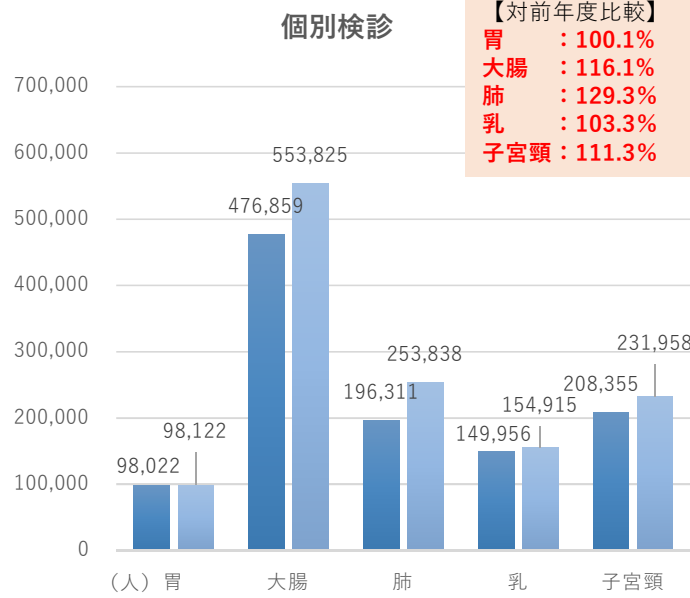
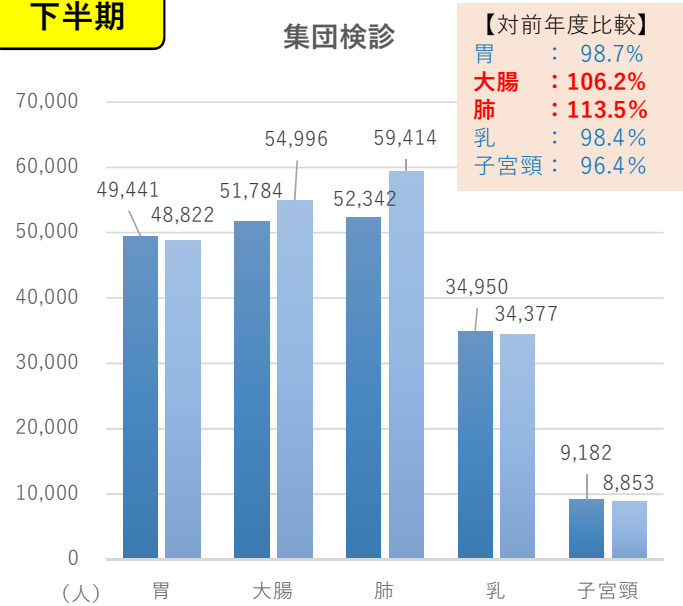
- 受診者数は集団検診・個別検診ともに6月以降は回復傾向にあり、下半期は前年度の受診者数を上回っている（対前年同期比：113.0%）。
- 検診実施時期の延長などの工夫により、年度末にかけて受診者の増加が見られた。
- しかし、年間では前年度比90.5%となり、コロナが原因と思われる受診者数の減少が見られた（対前年度比：233,590名減少）。

I-2-2 区市町村のがん検診受診者数（令和元年度及び2年度受診者数の比較） 【がん種・検診方法別】

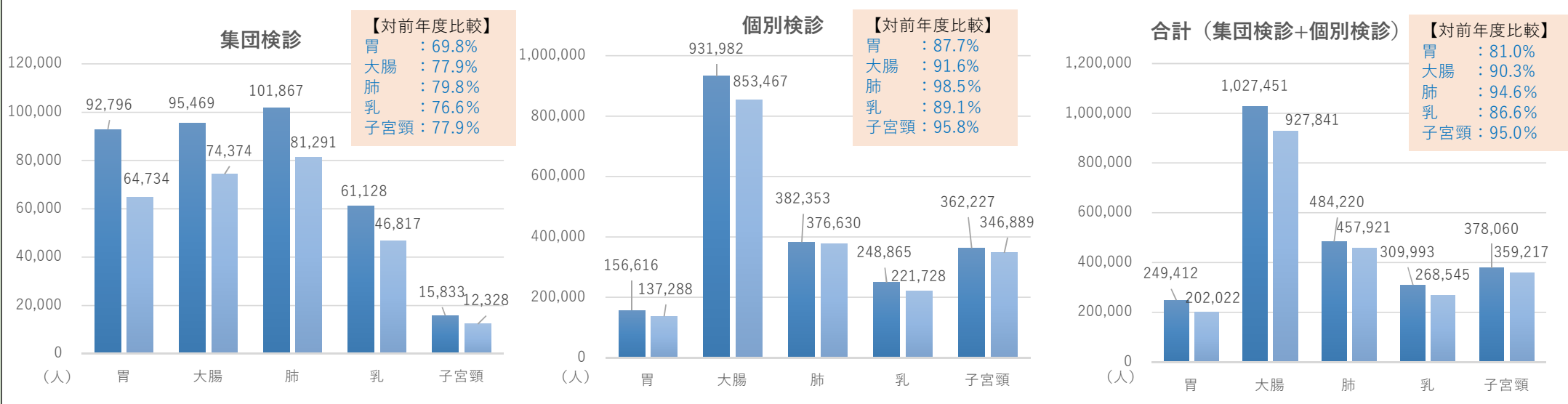
上半期



下半期



令和2年度合計



➤ **【上半期】**

○国が緊急事態宣言発令中（4/7～5/25）は集団検診は原則延期、個別検診は区市町村が実施機関と相談の上で判断、と方針を示したため、**この影響を大きく受けて減少している。**

➔集団検診の占める割合が高い自治体は緊急事態宣言に伴う延期による影響を大きく受けやすく、
集団検診と個別検診を併用している自治体は代替の受診機会が確保できるため、影響を受けにくい傾向がある。

➤ **【下半期】**

集団検診で大腸・肺がん検診は対前年比で増加、個別検診は全がん（胃・大腸・肺・乳・子宮頸がん）で増加しており、
特に個別検診の大腸（+76,966名）・肺（+57,527名）・子宮頸（+23,603名）で増加が大きい。

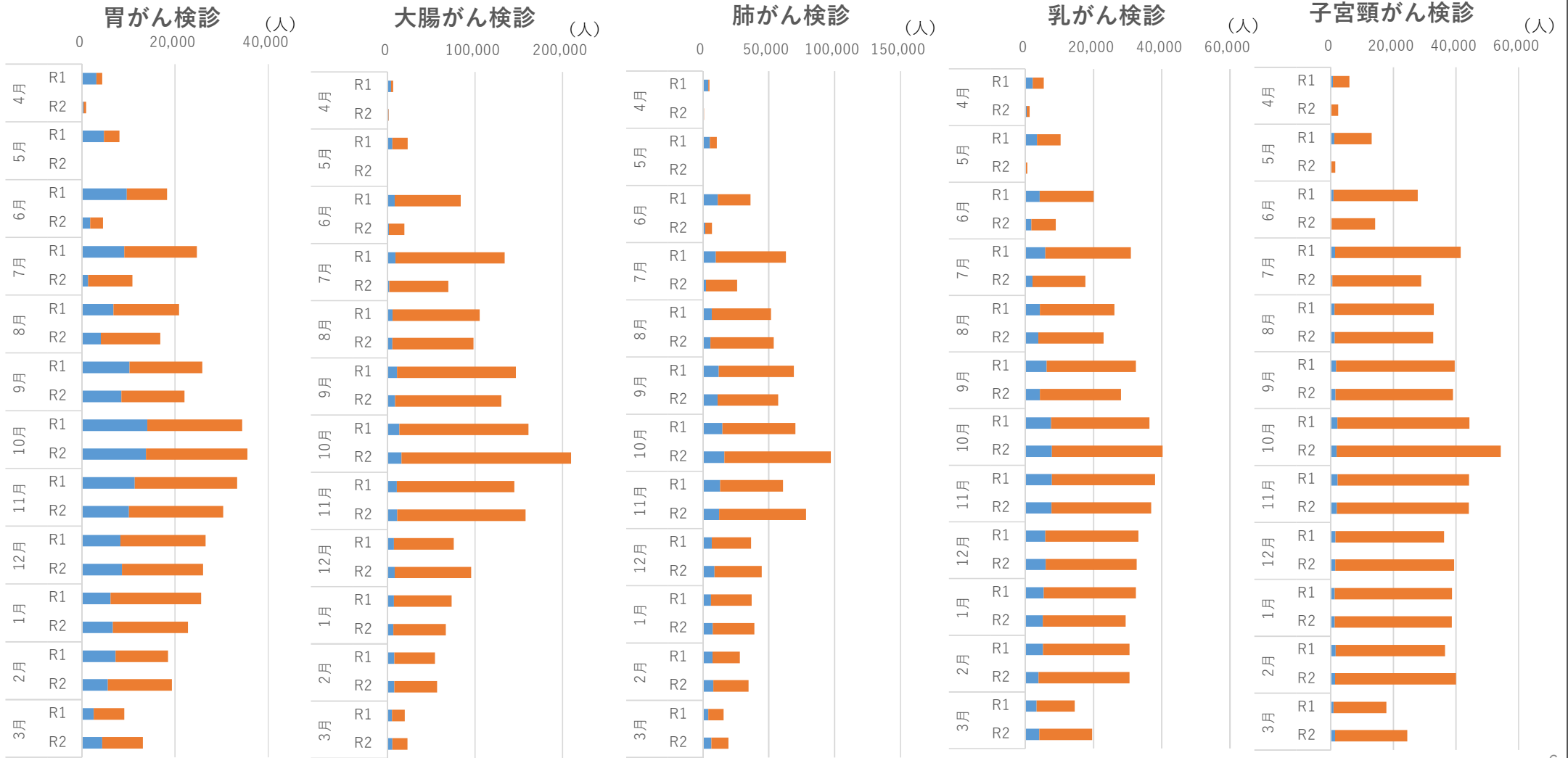
➤ **【年間】**

下半期は大きく増加したものの、上半期で検診を休止していた時期の減少分を回復することが出来ず、
集団検診・個別検診の合計では、
大腸（▲99,610名）、胃（▲47,390名）、乳（▲41,448名）、肺（▲26,299名）、子宮頸（▲18,843名）の**全てで前年度より減少。**

I-2-3 区市町村のがん検診受診者数（令和元年度及び2年度受診者数の月別比較）【がん種・検診方法別】

月別

■ 集団 ■ 個別



※上半期分において月別ではなくまとめて受診者数を報告した自治体の受診者数は除く。 6

I-2-4 区市町村のがん検診実施状況（令和2年度）

- ◆ **R2.6月時点**：緊急事態宣言発令中は検診を中止し、実施を延期をした自治体が多かった。
- ◆ **R2.9月時点**：多くの自治体が前回の調査から今回の調査までの間に延期していた検診を開始または実施予定
- ◆ **R3.1月時点**：緊急事態宣言再発令があったものの、**全ての自治体でがん検診を継続して実施または実施予定**

○胃がん検診【n = 61】（※町田市はABC検査のみ実施のため計上しない）

R2.6月				R2.9月				R3.1月						
	集団	個別	併用		集団	個別	併用		集団	個別	併用			
胃部X線	9	6	1	→	胃部X線	11	3	4	→	胃部X線	19	0	6	
胃内視鏡	3	3	0		胃内視鏡	4	3	0		胃内視鏡	5	1	0	
併用		4	5		併用	2	8	13		併用	2	11	17	
			自治体数	31				自治体数	48				自治体数	61
			実施率	50.8%				実施率	78.7%				実施率	100.0%

○大腸がん検診【n = 62】

	集団	個別	併用	自治体数	実施率
R2.6月	8	18	5	31	50.0%
R2.9月	8	34	13	55	88.7%
R3.1月	12	27	23	62	100.0%

○乳がん検診【n = 59】

	集団	個別	併用	自治体数	実施率
R2.6月	7	18	12	37	62.7%
R2.9月	9	28	18	55	93.2%
R3.1月	11	24	24	59	100.0%

※利島村・御蔵島村・青ヶ島村は視触診・超音波のみ実施のため計上しない

○肺がん検診【n = 60】

	集団	個別	併用	自治体数	実施率
R2.6月	11	15	12	38	63.3%
R2.9月	20	22	6	48	80.0%
R3.1月	30	20	10	60	100.0%

※中野区・町田市は当初より肺がん検診は未実施

○子宮頸がん検診【n = 62】

	集団	個別	併用	自治体数	実施率
R2.6月	6	27	4	37	59.7%
R2.9月	8	41	8	57	91.9%
R3.1月	10	42	10	62	100.0%